

トラックシート製造・販売

国産生地を一級帆布技能士が縫製
参考価格：軽量帆布1m単価1,650円(税込)
※6月1日以降は生地値上げですが、在庫限り上記金額でご提供します

トラックシート販売専用HP

トラックシート本舗 検索

製造・販売 創業1910年 株式会社ニシエント
TEL: 06-6582-2971 FAX: 06-6583-3178 https://truck-sheet.com/

Japan
Trucking
Association



広報 とらつく

毎月1日・15日発行
7月5日号

発行所 公益社団法人 全日本トラック協会
〒160-0004 東京都新宿区四谷三丁目2番地5
全日本トラック協会会館
☎ (03) 3354-1029 (総務部広報室)
https://jta.or.jp

議員立法を基に「政策パッケージ」をつかみ取ろう!!

坂本会長 この転換点を結束で!



公益社団法人全日本トラック協会 第100回通常総会

「業界の健全な発展とドライバーの幸せに向けて、
精一杯取り組む」と抱負を力強く語る坂本会長

全日本トラック協会は6月29日、東京都港区の第一ホテル東京で、第100回通常総会および第201回理事会を開催した。第201回理事会では、任期満了に伴う役員改選が行われ、坂本克己会長が再任された。

坂本会長は平成29年に全協会長に就任以来、類まれなる強力なリーダーシップを遺憾なく発揮して、トラック運送業界を力強くけん引。特に、令和3年3月末までの時限措置とされた「一荷主対策の深度化」のうち、国土交通大臣による荷主への働きかけ等の規定と、「標準的な運賃の告示制度」について「当分の間」延長するための、貨物自動車運送事業法の一部を改正する法律の成立に向けては、坂本会長を先頭に、トラック運送業界が固く結束して与野党各党の国会議員に対して力強く要望を重ねてきた結果、6月1日の衆議院本会議に続き、6月14日の参議院本会議で可決・成立させることができた。

4期目を迎えた坂本会長は、荷主に對して荷待ち時間の短縮等、労働環境の改善に向けて積極的に申し入れを行うとともに、荷主に對して「標準的な運賃」への理解を求める行動をより積極的に進めるよう、会員事業者に強く呼びかけるなど、「持続可能な物流の実現」に向けて全力で取り組んでいく(関連2・3面、8・9面に令和4年度事業報告書を掲載)。

貨物自動車運送事業法の一部を改正する法律が、このたび可決・成立した。これも、日頃からの皆様のお力添えのおかげであり、厚く御礼申し上げます。

こうした中で、6月2日には「物流革新に向けた政策パッケージ」が取りまとめられ、今後この政策パッケージに基づき、次期通常国会での法制化も含め、規制の措置についての枠組みが整備されることになっている。「標準的な運賃」については、コスト上昇分も含めて確実に価格転嫁できるように、年内に運賃水準を見直す方向性が示されている。また、

2024年を目前に、取引環境の適正化や生産性向上など、今できることについて行政とともに着実に取り組んでいく一方で、規制の措置の法制化に向けても様々な準備を進めていく。これにより、真面目な事業者が事業を継続できるようにする。トラックドライバーの待遇改善に繋げていくことで、業界の新たな未来が拓かれることになる。

坂本会長あいさつ(要旨)

我が国経済を支えるトラック輸送の今がまさに勝負の時!!

通常総会では冒頭、坂本会長が、厚生労働省や経済産業省、農林水産省、中小企業庁、公正取引委員会など、関係省庁にしっかりと取り組んでいただける体制ができてきたこと、議員立法によって改正法が成立し、時限措置延長が実現した。事業法改正を機に、関係省庁と連携して、荷主から適正な運賃・料金を受取ることができる仕組みづくりを進めていくとともに、多重下請け構造の適正化にも果敢に取り組んでいく。また、

**新自動車局長に鶴田浩久氏
道路局長は引き続き丹羽克彦氏**

国土交通省は7月4日付で、一連の幹部人事を発令した。藤井直樹事務次官が退職し、後任の事務次官には、和田信貴氏が就任した。大臣官房長には寺田吉道氏が就任。また、新しい自動車局長には鶴田浩久氏、大臣官房審議官(自動車・公共交通政策)に長井隆和氏、大臣官房審議官(自動車・公共交通政策)に舟本浩氏が就任。なお、道路局長は引き続き丹羽克彦氏が、貨物課長は小原弘明氏が務める(2面に関連記事)。

丹羽 克彦
道路局長

鶴田 浩久
自動車局長

都市内輸送に加え、都市間の長距離輸送にも
天然ガストラックを

日本ガス協会では、物流の大動脈である都市間の長距離輸送と、都市内輸送の両面から、天然ガス自動車の普及拡大を進めています。特に都市間輸送に大型天然ガストラックが導入されることは、高いCO₂削減効果が図れ、石油系燃料に依存する運輸部門のエネルギーセキュリティや環境性、経済性の向上も可能にします。

都市間輸送の環境改善に貢献する、
大型天然ガストラック

NGV = 天然ガス自動車 (Natural Gas Vehicle)

一般社団法人 日本ガス協会 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-15-12 TEL: 03-3502-0215 https://www.gas.or.jp/ngvj/

配達くん
運輸業専門の経営管理システム

信頼されて38年!
大創システムが送り出す

機能選択型システム「配達くん」とは?

新バージョンリリース

大創システム株式会社
DAISO SYSTEM CO., LTD.

本社 〒110-0005 東京都台東区上野 1-17-6
TEL.03(3831)3300 FAX.03(3831)3369
東北支店 〒982-0011 宮城県仙台市太白区長町1-3-26
TEL.022(706)2821 FAX.022(706)2822

詳細は下記をクリック
配達くん 検索

https://daisosystem.co.jp/

「ニュース・ターミナル」(トラック協会「ニュース」)

全下協・第100回通常総会

来賓あいさつ(要旨)

堀内 丈太郎 国土交通省自動車局長



堀内丈太郎国土交通省自動車局長

今月(6月)2日に「我々政策パッケージに基づき、我が国の物流の革新に関する次期通常国会での法制化」

丹羽 克彦 国土交通省道路局長



丹羽克彦国土交通省道路局長

道路局では、高速道路法改正により得られる財源を活用し、高速道路4車線化などの「進捗事項」を推進し、社会と協力しながら、

長年の功績をたたえて 常任理事・理事の退任に伴い感謝状を贈呈

通常総会では、常任理事・理事の退任に伴う感謝状の贈呈が行われた。

【常任理事(副会長)】 眞鍋博俊氏(福岡県・在職年数8年)、中村栄一氏(全国・同1年)、吉野雅山氏(愛知県・同2年)

「ニュース・ターミナル」(官公庁「ニュース」等)

和氏が事務次官に就任

自動車局長には、鶴田氏

国土交通省は7月4日、次官が退職し、後任の事務次官には和信貴氏が就任した。藤井直樹事務



和信貴 事務次官



藤井直樹 事務次官



鶴田浩久 自動車局長



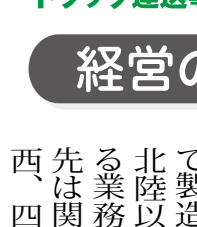
和信貴 事務次官



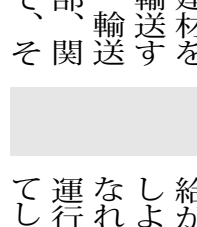
鶴田浩久 自動車局長



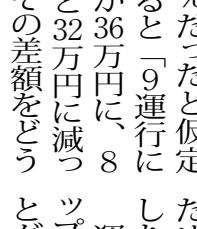
和信貴 事務次官



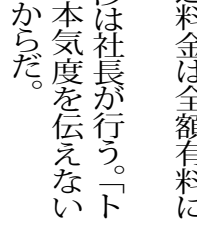
鶴田浩久 自動車局長



和信貴 事務次官



鶴田浩久 自動車局長



和信貴 事務次官

第28回全国トラック運送事業者大会 「札幌大会」 招聘あいさつ



北海道トラック協会会長 工藤修二

事業者大会は、来る令和5年10月4日(木)札幌市で開催されます。北海道トラック協会が担当する道ブロックを担当するは、今回で3回目になり

「議員立法での改正事業法成立の意義は非常に重い」

坂本会長が記者会見を実施

全日本トラック協会の坂本克己会長は、6月29日の通常総会終了後に記者会見を行った。



記者会見には多くの記者が集まった(6月29日、第1ホテル東京)

記者から、改正貨物自動車運送事業法が議員立法で成立に至った意義について問われた坂本会長は、「内閣立法に比べて、国民生活により密着した議員立法は、行政や国民に対する重みがある。それゆえに、公正取引委員会のもとで、事業法改正に前向きに、業界の健全な発展に向けて取り組んでいただければと思います。」と述べた。

また、6月2日の政府「我が国の物流の革新に関する関係閣僚会議」

「2024年問題」における最大の課題は、「賃金を減らすに労働時間を短縮すること」である。前回は関東運輸局・中部運輸局管内の事業者の取り組みを紹介する。

それ以外に遠方への輸送は、以前から請けないようにしてきた。だが長距離輸送なので、労働時間の短縮を進めなければならない。そこで同社は、例えば、月10運行だったものを今年度からは9運行にした。また、来年度の4月は「1万3000円」は8運行に減らす。このように、運行回数はさらに4万円をプラスする。数値を減らすという考えだ。走行距離に応じて労働時間を短縮する。運行数を減らした分は協力会社への外注を増やす。肝心なのは原資の確保である。そこで、「労働時間短縮を理由に、運賃の10%アップで交渉した。なかには5%しか値上げできなかった荷主もいるが、10月の下期からは5%の値上げを交渉中だ。」と、来年はさらに10%の値上げを計画している。また、時短のために高速料金は全額有料に運賃交渉は社長が行う。「トツパ交渉で本気度を伝えないとダメ」だからだ。

労務 Q&A 第270回 休業中の賃金、月給と時給の待遇差は不合理か

梅雨に入り、各地で、局地的な豪雨をもたらす「線状降水帯」による深刻な被害の発生が報道されています。そのような事態になれば、わが社も休業をせざるを得ないと考えますが、仮に、そのために午前で業務を打ち切り、午後から会社を休みにする、正社員は月給制であるため、基本給部分が支払われるのに対し、パートタイム労働者は時給制であるため、休業中は時給が支払われず、労働者側は月給制と時給制の差が大きいという問題が生じています。

「賃金支払い方式の相違による問題なし」 平成30年7月公布の「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」(働き方改革関連法)により打ち出された「雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保(同一労働同一賃金の実現)」を目的に、「パートタイム・有期雇用労働法」では、同一企業内の正規雇用労働者と、パートタイム労働者や有期雇用労働者など非正規雇用労働者の、基本給や賃金などあらゆる待遇において、不合理な待遇差を設けることが禁止されました。そして、合理的な待遇差に関する具体的な判断基準として、「短時間・有期雇用労働者及び派遣労働者に対する不合理な待遇差の禁止等に関する指針(平成30年厚生労働省告示第430号)」が示されています。

同指針では、基本給について、正規雇用労働者とパート・有期雇用労働者として決定基準が同一である場合には、その決定基準に照らし、同じであれば同一の基本給を支給しなければならない旨を述べているものの、月給制と時給制という制度の違いから待遇差については何ら言及していません。特に問題はないという判断でしょうが、一般的に考えても、正規雇用労働者について月給制を採用する一方で、パート・有期雇用労働者の1日当たりあるいは週当たりの労働時間に相違がある実態を踏まえて、個別の労働時間に応じた賃金計算がより容易な時給制を採用する、という賃金の算定方式の相違からくる待遇差は、不合理ではないといえるでしょう。判例でも、個別事例の判断とはいえず、正職員が月給制で、アルバイト職員が時給制のケースについて、①

トラック運送事業者のための

経営のヒント

もう一つの大きな事業は、地元の工場で製造された建材を北陸以外に輸送する業務である。輸送先は関東、中部、関西、四国などで、

物流ジャーナリスト 森田 富士夫

運行数減で時短推進し賃金も維持

「以前から請けないようにしてきた。だが長距離輸送なので、労働時間の短縮を進めなければならない。そこで同社は、例えば、月10運行だったものを今年度からは9運行にした。また、来年度の4月は「1万3000円」は8運行に減らす。このように、運行回数はさらに4万円をプラスする。数値を減らすという考えだ。走行距離に応じて労働時間を短縮する。運行数を減らした分は協力会社への外注を増やす。肝心なのは原資の確保である。そこで、「労働時間短縮を理由に、運賃の10%アップで交渉した。なかには5%しか値上げできなかった荷主もいるが、10月の下期からは5%の値上げを交渉中だ。」と、来年はさらに10%の値上げを計画している。また、時短のために高速料金は全額有料に運賃交渉は社長が行う。「トツパ交渉で本気度を伝えないとダメ」だからだ。

「二ユース・ターミナル(トラック協会二ユース)」

第100回通常総会記念懇親会



通常総会100回開催の節目祝し「記念懇親会」開催

斉藤国交大臣はじめ300余人が参集



坂本克己会長

全日本トラック協会は6月29日第一ホテル東京(東京都港区)で、「第100回通常総会記念懇親会」を開催した。同会は、全協の通常総会が第100回目の開催となることを記念し、通常総会後に催されたもの。通常総会の出席者に加え、斉藤国交大臣、大蔵大臣、藤井直樹国土交通事務次官ら来賓も多数駆け付け、100回開催の節目を祝った。斉藤国交大臣あいさつ別掲。

「改めて先達の皆様と、本日ご臨席の皆様へ厚く感謝と御礼を申し上げます。今日はぜひ第200回はぜひ第200回に向けて、先達のご苦労を語り合いながら、このひとときをゆっくりとお過ごしください」と、坂本克己会長のあいさつ。また、会の冒頭には、「美しく響く日本のうた 心のハーモニー」をテーマに活動する姉妹コーラスユニット「シユガシスターズ」が登場。姉の佐藤谷子さん(ソプラノ)と妹の佐藤寛子さん(メゾソプラノ)が、「夏の思い出」「You Raise Me Up」「Con Te Partiro」の4曲を披露した。姉妹の美しいハーモニーが会場を包み込み、祝宴に華やかな彩りを添えた。

また、国交省から来賓として、吉岡幹夫技監、堀内丈太郎自動車局長、鶴田浩久大臣官房公共交通・物流政策審議官、岡野まさ子自動車局官房審議官、小能弘明貨物課長、原田修吾総務課長、村上強志前安全政策課長、久保田秀暢技術・環境政策課長らが出席したほか、歴代の自動車局長として武藤氏、田端直氏、奥田哲也氏、林川直也氏、加藤進氏、伊地知英己氏らが多数駆け付け、通常総会100回記念を祝った。



第100回を迎え、盛大に開催された、「第100回通常総会 記念懇親会」



小林副会長の発声で乾杯

本日は、全日本トラック協会第100回通常総会記念懇親会が盛大に開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。先達・先人の方々に敬意を表すとともに、本日ご列席の皆様方には、日頃より国土交通行政、とりわけ自動車運送事業法が成立したことに対し、改めて御礼を申し上げます。国土交通省では、改正貨物自動車運送事業法は、坂本会長が熱意をもって取り組まれたからこそ成立した法律でありました。皆様方のご支援をいただき、適切な環境を整備など、適正な取引の実現に向けて、さらに取り組みを進めてまいります。

また、6月2日に開催された「我が国の物流の革新に関する関係閣僚会議」において、「物流革新に向けた政策パッケージ」が取りまとめられました。国交省としては、これを実効性あるものとするため、引き続き「働き方改革」の実現、引き続きの発展と、本日ご列席の皆様方の益々の健康・ご活躍を祈念いたしまして、国交省を代表してのごあいさつさせていただきます。これからも共に頑張りましょう。

また令和6年度から、トラックドライバーにも時間外労働の上限規制が適用され、労働環境の改善が期待される一方、輸送能力が約14%不足する可能性があるという、いわゆる「2024年問題」に直面しています。このため、トラック運送事業の取引環境の適正化や、生産性向上などの取り組みを加速的に推進していく必要があります。



斉藤 鉄夫 国土交通大臣

来賓あいさつ 斉藤 鉄夫 国土交通大臣

トラック運送業界と連携し「働き方改革」・「安定的・持続的な物流の確保」に邁進

国土交通省ではこれまで、「貨物自動車運送事業法」に基づき、「標準的な運賃」の周知・浸透や、荷主への働きかけ等を実施してまいりましたが、その適用期限を「当分の間」とする改正法が先

東海電子株式会社 無料WEBセミナーご案内

セミナー詳細は携帯からも確認、参加登録が可能! ご参加お待ちしております!

7/5 水 13:30~15:00 国土交通省自動点呼認定機器 e点呼包114 新製品発表セミナー	7/7 金 13:30~14:30 遠隔点呼は対面点呼と同等です! 遠隔点呼で、対面点呼を!
7/12 水 13:30~14:15 補助金・助成金 有効に使いましょうセミナー	7/13 木 13:30~14:40 やる気スイッチ! 押させてください! ALC-miniIV IC のご紹介 & 全国に伝えたい 飲酒教育
7/18 火 13:30~15:00 管理の話じゃない、クラウドの話じゃない。 今さら聞けない、今こそ知りたい、アルコール検知器の基本概念。 呼吸アルコール検知器 概論	7/20 木 13:30~14:45 株式会社日立ケーコーシステムズ X 東海電子株式会社 あっ! 危ない!! ドライブシミュレーターACM300で危険予知トレーニング!
7/27 木 13:30~14:30 見逃していませんか? 「遠隔地」こそ、「アルコール検知器」を使って点呼を! ALC-Mobile III	待望の対面セミナー復活! 7月25日 東京 7月28日 大阪 機器を触ったり相談・商談も可能! 詳細は近日公式HPにて掲載予定です。そちらをご確認ください 東海電子公式HP

FUJITSU

クラウドだからできること 9

デジタコが「今すぐ」を加速します。

今すぐ、車両位置を確認したい。
今すぐ、ドラレコ画像を共有したい。
今すぐ、最適ルートを知りたい。

多彩な機能をワンタッチで操作、「今すぐ」知りたい情報をクラウドで伝えます。

タッチパネル搭載 ネットワーク型車載ステーション DTS-G10
カーナビ標準搭載 ネットワーク型車載ステーション DTS-G1D

クラウド型運行支援サービス ITP-WebService V3
月額2,980円/台(税別) [ナビあり] 月額2,690円/台(税別) [ナビなし]
*デジタコ本体の費用は別途必要です。

GOOD DESIGN 1位 導入実績

「ユース・ターミナル」(官公庁ユース等)

改正「国土強靱化基本法」が成立
 国土強靱化基本法の一部を改正する法律が6月14日、参議院本会議で可決成立した。
 改正法では、令和7年度終了する「防災・減生活の実現を図るための」

「国土強靱化のための5か年加速化対策」(後)も継続して対策に取り組むため、新たに国土強靱化実施中期計画の策定を政府に義務付ける。実施中期計画では、計画期間や

期間内に実施すべき施策の内容・目標などを策定。実施中期計画の法定化により、中・長期的な見通しの下で、高規格道路のミッシングリンク解消および4車線化、高規格道路と直轄国道とのダブルネットワーク化等による道路ネットワークの

機能強化対策など、交通ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済生活を支えるための対策をはじめとした諸施策が着実に推進できるようなることが期待されている。

令和5年度に約600台の拡充を予定
 高速道路休憩施設における大型車駐車スペースの拡充を予定
 東日本高速道路(株)・中日本高速道路(株)・西日本高速道路(株)のNEXCO3社は6月7日、休憩施設における大型車駐車スペースの令和4年度拡充実績

と5年度拡充予定を取りまとめた。
 4年度は、既存エリア内での小型車スペースから大型車スペースへの描き換え等により、全国21か所のサービスエリア(SA)・パーキングエリア(PA)において、大型車スペース373台の拡充が完了。5年度には、全国37か所のSA・PAにおいて、約600台の大型車駐車スペースの拡充を予定している。NEXCO3社では現在、(有識者および)独法)日本高速道路保有・債務返済機構とともに実施している「高速道路SA・PAにおける利便性向上に関する検討会」において、駐車スペース不足への対策を検討。検討会での議論も踏まえ、今後は休憩施設以外の高速道路事業用地などを活用した大型車スペースの拡充を予定している。今年3月28日に改正労働安全衛生規則等説明会を開催している。また、陸上貨物運送事業労働災害防止協会(陸災防)では現在、全国で「改正労働安全衛生規則等説明会」を開催している。詳細は、陸災防ホームページ(ページ②)を参照。
 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

「最終取りまとめ」策定に向け8月3日までパブリックコメント募集
 第11回「持続可能な物流の実現に向けた検討会」
 経済産業省 国土交通省 農林水産省は6月16日、第11回「持続可能な物流の実現に向けた検討会」(最終取りまとめ)策定に向け8月3日までパブリックコメント募集を開始した。
 議事では、まず公正取引委員会から、公取委への相談・相談事例(共同物流等)について発表が行われ、その後最終取りまとめ(案)について意見交換を実施。委員から寄せられた意見を反映させた上で8月3日まで最終取りまとめ(案)に対する意見公募を行っている。意見募集期間は、8月3日(木)まで(必着)。意見を提出し、見出しに「持続可能な物流の実現に向けた検討会」を記載し、電子メールで提出すること。詳細は、国土交通省ホームページ(ページ②)を参照。

「農産物・食品の物流標準化」など3件の報告書を取りまとめ
 「食品流通合理化に関する調査」
 農林水産省ではこのほど、食品流通合理化に関する調査について、令和4年度「過労死等の労災補償状況」を取りまとめ、公表した。
 4年度の過労死等に関する請求件数は3486件(前年度比38.7件増)で、支給決定件数は904件と、前年度に比べ10.3件増加した。うち、死亡・自殺未遂を含む件数は121件(同15件減)だった。
 脳・心臓疾患に関する労災補償状況については、請求件数が803件(同50件増)で、うち死亡件数は218件(同45件増)。支給決定件数は194件で、前年度に比べ22件増加し、うち死亡件数は前年度比3件減の54件だった。また、業種別中分類では「道路貨物運送業」が請求件数1333件、支給決定件数50件と、いずれも最多となったが、支給決定件数は、前年度に比べ6件減だった。
 「ドライバーの時間外労働の上限規制適用に向けたPR動画を制作」
 厚生労働省は6月28日、適用猶予業種の時間外労働の上限規制特設サイト「はたきかたスズメ」(二次元コード)を公開した。動画は、同特設サイトのほか、厚労省YouTubeチャンネルでも公開されている。また、都内ではJR、地下鉄の電車内ビジョンでも放映されている。
 厚労省では、同動画シリーズを通じて、運輸業が抱える課題や、運輸業などでの働き方改革の実現に向けて、国民向けに協力してもらいたい内容などを伝えていくことにしている。

「農産物・食品の物流標準化委託事業」では、4年度事業「農産物・食品の物流標準化委託事業」(「モーターシフト」)に関する調査委託事業、「ナッジ手法を活用した適切なパレット管理意識の醸成に関する調査委託事業」の報告書を取りまとめた。
 「農産物・食品の物流標準化委託事業」では、4年度事業「農産物・食品の物流標準化委託事業」(「モーターシフト」)に関する調査委託事業、「ナッジ手法を活用した適切なパレット管理意識の醸成に関する調査委託事業」の報告書を取りまとめた。
 「農産物・食品の物流標準化委託事業」では、4年度事業「農産物・食品の物流標準化委託事業」(「モーターシフト」)に関する調査委託事業、「ナッジ手法を活用した適切なパレット管理意識の醸成に関する調査委託事業」の報告書を取りまとめた。

「最終取りまとめ」策定に向け8月3日までパブリックコメント募集
 第11回「持続可能な物流の実現に向けた検討会」
 経済産業省 国土交通省 農林水産省は6月16日、第11回「持続可能な物流の実現に向けた検討会」(最終取りまとめ)策定に向け8月3日までパブリックコメント募集を開始した。
 議事では、まず公正取引委員会から、公取委への相談・相談事例(共同物流等)について発表が行われ、その後最終取りまとめ(案)について意見交換を実施。委員から寄せられた意見を反映させた上で8月3日まで最終取りまとめ(案)に対する意見公募を行っている。意見募集期間は、8月3日(木)まで(必着)。意見を提出し、見出しに「持続可能な物流の実現に向けた検討会」を記載し、電子メールで提出すること。詳細は、国土交通省ホームページ(ページ②)を参照。



第145回「タイヤの通電性」

タイヤのゴムの通電性について、そのカーボンブラックの含有率や、ゴムの配合成分、ゴムの硬化状態などが影響を及ぼしている。また、路面の状況や、タイヤの温度なども影響を及ぼしている。タイヤの通電性は、タイヤの性能に大きく影響を及ぼしている。タイヤの通電性を向上させるためには、カーボンブラックの含有率を高め、ゴムの硬化状態を良くすることが重要である。また、路面の状況や、タイヤの温度なども影響を及ぼしている。タイヤの通電性を向上させるためには、カーボンブラックの含有率を高め、ゴムの硬化状態を良くすることが重要である。

除去できるわけではない。しかしながら、「シリカ(酸化ケイ素)」の登場により、それは変化した。シリカは、白色の鉱石で、タイヤのゴムに混合すると省燃費性能が飛躍的に向上し、雨天走行時の安全性が増すだけでなく、タイヤのゴムの硬化も防げる。最初、タイヤのゴムの配合量はわずかでしたが、現在は、カーボンブラックよりもシリカの配合量の多い商品も出てきた。ただシリカには、電気を通さないという性質があるため、現在のタイヤの中には、タイヤから路面に静電気を逃がす、アースのような「導電スリット」も内蔵されている。

タイヤの中に蓄積された静電気を完全に除去する。クルマの乗り心地も変わります。以前筆者は、タイヤ仲間の一人から、「タイヤ内にたまった静電気を除去



「まちがいががし」5月20日号掲載の「まちがいががし」の正解は、下記の30か所でした。正解者の中から抽選で20名様に記念品をプレゼントします。なお、当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。多数のご応募ありがとうございました。

自身の乗用車に装着してみたところ、わずかに1時間走行しただけで、ハンドルのタイヤのゴムの鮮度が新品時に戻ったような感覚があり、走行音も静かです。雨の日の走行安定性も実感できました。また、その効果を通じて、「タイヤから静電気を除去すると」という性質も知りました。タイヤの性能は、もう限界レベルまで向上していますが、こうしたナッジのような付属品の方で、さらなる高みに到達することができるといふことを痛感した体験でした。

まちがいががし 答え合わせ

「まちがいががし」5月20日号掲載の「まちがいががし」の正解は、下記の30か所でした。正解者の中から抽選で20名様に記念品をプレゼントします。なお、当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。多数のご応募ありがとうございました。

ブリヂストンのリトレッドタイヤは 輸送ビジネスのスタンダードへ

国内のトラック・バス用タイヤのうち、約4本に1本がリトレッドタイヤを使用、リトレッドタイヤを使用するユーザー様が増えています。

※2022年 ブリヂストン調べ

株式会社ブリヂストン
 [お客様相談室] フリーダイヤル 0120-39-2936
 受付時間: 月～金(土日・祝日および指定休日は除く)9:00～17:00
 https://tire.bridgestone.co.jp

リトレッドタイヤの 詳細はこちら

BRIDGESTONE Solutions for your journey

7) 高速道路料金の割引の拡充及び重要物流道路等広域道路ネットワークの整備など使いやすい道路の実現

高速道路料金引き下げや物流基盤の整備に関する取組について、令和5年度道路局2次案に、重要物流道路等広域道路ネットワークの整備など使いやすい道路の実現

8) 新技術を活用した物流DXの推進

物流DXの推進、自動運転やAIを活用した物流の効率化、デジタル技術の導入による業務の自動化

重点施策 (1) 自動車関係諸税の簡素化・軽減

自動車関係諸税の簡素化・軽減、自動車保有税の軽減、自動車取得税の軽減、自動車重量税の軽減

(2) 環境・SDGs対策の推進

環境・SDGs対策の推進、環境負荷低減、SDGs達成に向けた取り組み、環境配慮型車両の導入

(3) 適正化事業等の推進

適正化事業等の推進、適正化事業の推進、適正化事業の効果的な実施、適正化事業の普及

(4) 大規模自然災害発生時における緊急輸送体制の確立

大規模自然災害発生時における緊急輸送体制の確立、災害時の輸送体制の強化、緊急輸送体制の整備

(5) 新型コロナウイルスへの対応

新型コロナウイルスへの対応、新型コロナウイルス感染症の対策、新型コロナウイルス感染症の予防

(6) その他

その他、その他の施策、その他の取組、その他の取り組み

その他の施策、その他の取組、その他の取り組み、その他の取り組み、その他の取り組み



左から、佐久間氏、笠原氏、山本氏、結城氏、岩田氏、金井現青年部長

北の子どもたちに暑い夏を乗り切ってもらったため、扇風機を送ろうという話しになりました。しかし、肝心の扇風機が集まらず、なかなか話が進みませんでした。その時に、私が付き合っている百貨店の外商の方から「お付き合ひのあるメーカーがソーラー電池で動く扇風機を開発したので、初期ロット1000台をお譲りしてもよい」という話をいただき、それを購入しました。東北からトラックを呼んで、扇風機を満載にして、東京から北上しながら扇風機を各教育現場に少しずつ配っていくという計画を立てました。その時に、「全国物流青年経営者中央研修会」の寄贈では誰から扇風機をもらったか分からないから、全日本トラック協会の名前を使わせてほしい」と全ト協にお願いしました。研修会組織だったこともあり、はじめは許可がおりませんでした。活動の意義を熱心に訴え、認めていただきました。そういった中で全ト協の正式な組織として青年部会が活動を始めたのですが、逆に見がぶつかり合ってしまうと、苦勞することも多々ありました。今ではいい思い出になっています。

笠原…苦勞があるが、改めさせていただきます。いい思い出になっています。

結城…私の時代は、改めさせていただきます。いい思い出になっています。

佐久間…仲間が全国に広がってきた。これは本当に感謝しております。今でも私の大切な財産です。青年部会が正式発足10周年を迎えましたが、私の前には、業界の青年経営者の先輩たちが数多くいらっしゃいます。青年部会には、私よりも前から活躍してきた先輩たちが、研修組織として活動していた22年間、ずっとパワ―を蓄えてきてくれた組織です。その中で「青年経営者がひとつになろう」という機運が高まると、「全国規模の活動や交流ができるようになった」ということは大変良かったと思います。

結城…青年部会での活動を通じて、志を同じくする、文字通り「同志」との出会いはあります。そして、物事を議論しながら前へ進めていく運営能力が身に付いたことも、青年部会での活動の大きな成果だと思います。正副部長会議のメンバーに加わりました。就任

佐久間…北海道から沖縄までたくさん仲間ができてきたことが、私自身のある財産ではないかと思っています。活動する上で、皆さんとコミュニケーションをとることが、一つの活動に対して、目的意識を持って取り組むということをお忘れないうちに、取り組む目的を

山本…熊本地震に関し、準備期間が全くない状態の中でしたが、ただ震災で不安の中で過ごされている方を少しでも勇気づけたいと考え、一日でも早くイベントを開催したいという思いがありました。開催に向けた準備は、実は大変でしたが、私たちの代では全国的に青年部会を盛り上げていくという機運が非常に高まっていたので、そういった意味ではすごく有難かったのですが、逆に意見がぶつかり合ってしまうと、苦勞することも多々ありました。今ではいい思い出になっています。

山本…熊本地震に関し、準備期間が全くない状態の中でしたが、ただ震災で不安の中で過ごされている方を少しでも勇気づけたいと考え、一日でも早くイベントを開催したいという思いがありました。開催に向けた準備は、実は大変でしたが、私たちの代では全国的に青年部会を盛り上げていくという機運が非常に高まっていたので、そういった意味ではすごく有難かったのですが、逆に意見がぶつかり合ってしまうと、苦勞することも多々ありました。今ではいい思い出になっています。

Web会議システムが普及するなど、あの当時苦勞していたことが今となっては当たり前になっています。就任2年目になり、コロナ対応が少しく緩和されていき、各地域で活動が再開し始めると、部会員の皆さんと対面して話したいという思いが強くなりました。就任2年目になり、コロナ対応が少しく緩和されていき、各地域で活動が再開し始めると、部会員の皆さんと対面して話したいという思いが強くなりました。就任2年目になり、コロナ対応が少しく緩和されていき、各地域で活動が再開し始めると、部会員の皆さんと対面して話したいという思いが強くなりました。

山本…熊本地震に関し、準備期間が全くない状態の中でしたが、ただ震災で不安の中で過ごされている方を少しでも勇気づけたいと考え、一日でも早くイベントを開催したいという思いがありました。開催に向けた準備は、実は大変でしたが、私たちの代では全国的に青年部会を盛り上げていくという機運が非常に高まっていたので、そういった意味ではすごく有難かったのですが、逆に意見がぶつかり合ってしまうと、苦勞することも多々ありました。今ではいい思い出になっています。

山本…熊本地震に関し、準備期間が全くない状態の中でしたが、ただ震災で不安の中で過ごされている方を少しでも勇気づけたいと考え、一日でも早くイベントを開催したいという思いがありました。開催に向けた準備は、実は大変でしたが、私たちの代では全国的に青年部会を盛り上げていくという機運が非常に高まっていたので、そういった意味ではすごく有難かったのですが、逆に意見がぶつかり合ってしまうと、苦勞することも多々ありました。今ではいい思い出になっています。

ワクワクする NEWSが 走り出す。



誕生!

新型 ELF

選べる自由、それが「運ぶ」の未来。

新型ELFの特長

- New Lineup
ディーゼル車に加え、新開発手法「I-MACS」により、共通プラットフォームでEV車を新たにラインナップ。
* I-MACS: Isuzu Modular Architecture and Component Standard
- New Design
先進性のある内外装に一新。「運ぶ」を担うドライバーに、ワクワクと喜びを感じられるデザインを追求。
- New Hospitality
ドライバー目線の開発で、乗る人/使う人への深い思いやりを具現化。働くクルマに「ホスピタリティ」という新しい発想を。
- New Economy
新開発9速AMT「ISiM(アイシム)」が、卓越した燃費性能とトラックのイメージを塗り替えるスムーズな走りを実現。
- New Safety
事故のない社会を目指し、先進の安全運転支援技術を多数採用。
- New Connected
ドライバーとつながる機能を加え、いすゞコネクテッドをいちだんと進化。

いすゞ エルフ



厚労省 助成金を活用して「時間外労働上限規制の適用」への対応を!

令和5年度「働き方改革推進支援助成金」に適用猶予業種等対応コース(運送業)を新設

労働時間削減等に取り組む中小トラック運送事業者を支援

令和6年4月1日から、トラック運送事業者などの自動車運送者にも、時間外労働の上限規制が適用されます。厚労省ではこのほど、時間外労働の上限規制の適用に向け、「働き方改革推進支援助成金」に「適用猶予業種等対応コース(運送業)」を新設しました。同コースは、上限規制への対応や、勤務間インターバル制度の導入に向けて、労働時間の削減に取り組む中小トラック運送事業者を支援するものとなります。ここでは、同コースの内容について紹介します。

①「適用猶予業種等対応コース」とは?

生産性向上への取り組みを進める中小運送事業者に対して助成金を支給する「図1」に助成内容を紹介します。

同コースでは、時間外や、勤務間インターバルの導入に向けて労働者の負担軽減を図ることに資する機器の導入など、生産性向上に資する取り組みの導入に資する取り組みの実施に要する経費の一部が補助されます。

②助成額

「成果目標」達成状況に応じ助成を実施。助成額は最大880万円。

③助成金利用の流れ

交付決定後に計画に従い取り組みを推進。申請受付は5年11月30日(木)まで。

同コースでは、図1の「成果目標」の達成状況に応じて、助成対象となる取り組みの導入に資する取り組みの実施に要する経費の一部が補助されます。同コースでは、図1の「成果目標」の達成状況に応じて、助成対象となる取り組みの導入に資する取り組みの実施に要する経費の一部が補助されます。

図1 適用猶予業種等対応コース(運送業)の助成内容

- 対象事業主**
- 以下のいずれにも該当する事業主です。
- 労働者災害補償保険の適用を受ける労働基準法第140条第1項に定める自動車運転の業務に従事する労働者を雇用する中小企業事業主(※1)であること。
 - 年5日の年次有給休暇の取得に向けて就業規則等を整備していること。
 - 交付申請時点で、36協定を締結していること。
 - 下記「成果目標」②を選択する場合は、原則として、過去2年間において月45時間を超える時間外労働の実態があること。(※2) など(※3)
- (※1)中小企業事業主の範囲
以下のいずれかの要件を満たす企業が中小企業になります。
・資本または出資額が3億円以下
・常時使用する労働者が300人以下
- (※2)基本的には1月45時間を超える時間外労働の実態があれば、要件を満たすこととなりますので、詳細はお問い合わせください。
- (※3)その他の要件についてはお問い合わせください。

助成対象となる取組 ~いずれか1つ以上を実施~

- 労務管理担当者に対する研修(※4)
 - 労働者に対する研修(※4)、周知・啓発
 - 外部専門家によるコンサルティング
 - 就業規則・労使協定等の作成・変更
 - 人材確保に向けた取組
 - 労務管理用ソフトウェア、労務管理用機器、デジタル式運行記録計の導入・更新(※5)
 - 労働能率の増進に資する設備・機器等の導入・更新(※5)
- (※4)研修には、勤務間インターバル制度に関するもの及び業務研修も含まれます。
(※5)原則として、パソコン、タブレット、スマートフォンは対象となりません。

成果目標

以下の「成果目標」の達成を目指して取組を実施してください。

- 月60時間を超える36協定の時間外・休日労働時間を縮減させること。
・時間外労働と休日労働の合計時間数を月60時間以下に設定
・時間外労働と休日労働の合計時間数を月60時間を超え月80時間以下に設定
- 9時間以上の勤務間インターバルを導入すること。(新規導入、適用範囲の拡大、時間延長)
上記の成果目標に加えて、指定する労働者の時間当たりの賃金額を3%以上または、5%以上で賃金引き上げを行うことを成果目標に加えることができます。

助成額

左記「成果目標」の達成状況に応じて、助成対象となる取組の実施に要した経費の一部を助成します。**【助成額最大880万円】**

助成額	以下のいずれか低い額
	I 以下1~2の上限額及び3の加算額の合計額 II 対象経費の合計額×補助率3/4(※6) (※6) 常時使用する労働者数が30人以下かつ、支給対象の取組で⑥から⑦を実施する場合で、その所要額が30万円を超える場合の補助率は4/5

【Iの上限額】

1. 成果目標①の上限額

事業実施後に設定する時間外労働と休日労働の合計時間数	事業実施前の設定時間数	
	現に有効な36協定において、時間外労働と休日労働の合計時間数を月80時間を超えて設定している事業場	現に有効な36協定において、時間外労働と休日労働の合計時間数を月60時間を超えて設定している事業場
時間外労働と休日労働の合計時間数を月60時間以下に設定	250万円	200万円
時間外労働と休日労働の合計時間数を月60時間を超え、月80時間以下に設定	150万円	—

2. 成果目標②の上限額

(新規導入に該当するものがある場合)

休憩時間数(※7)	1企業当たりの上限額
9時間以上 11時間未満	100万円
11時間以上	150万円

(適用範囲の拡大・時間延長のみの場合)

休憩時間数(※7)	1企業当たりの上限額
9時間以上 11時間未満	50万円
11時間以上	75万円

(※7) 事業実施計画で指定した事業場に導入する勤務間インターバルの休憩時間数のうち、最も短いものを指します。

3. 賃金引き上げの達成時の加算額

(常時使用する労働者数が30人以下の場合)

引上げ人数	1~3人	4~6人	7~10人	11人~30人
3%以上引上げ	30万円	60万円	100万円	1人当たり10万円(上限300万円)
5%以上引上げ	48万円	96万円	160万円	1人当たり16万円(上限480万円)

(常時使用する労働者数が30人を超える場合)

引上げ人数	1~3人	4~6人	7~10人	11人~30人
3%以上引上げ	15万円	30万円	50万円	1人当たり5万円(上限150万円)
5%以上引上げ	24万円	48万円	80万円	1人当たり8万円(上限240万円)

(2023年4月)

図2 課題別にみる助成金の活用事例

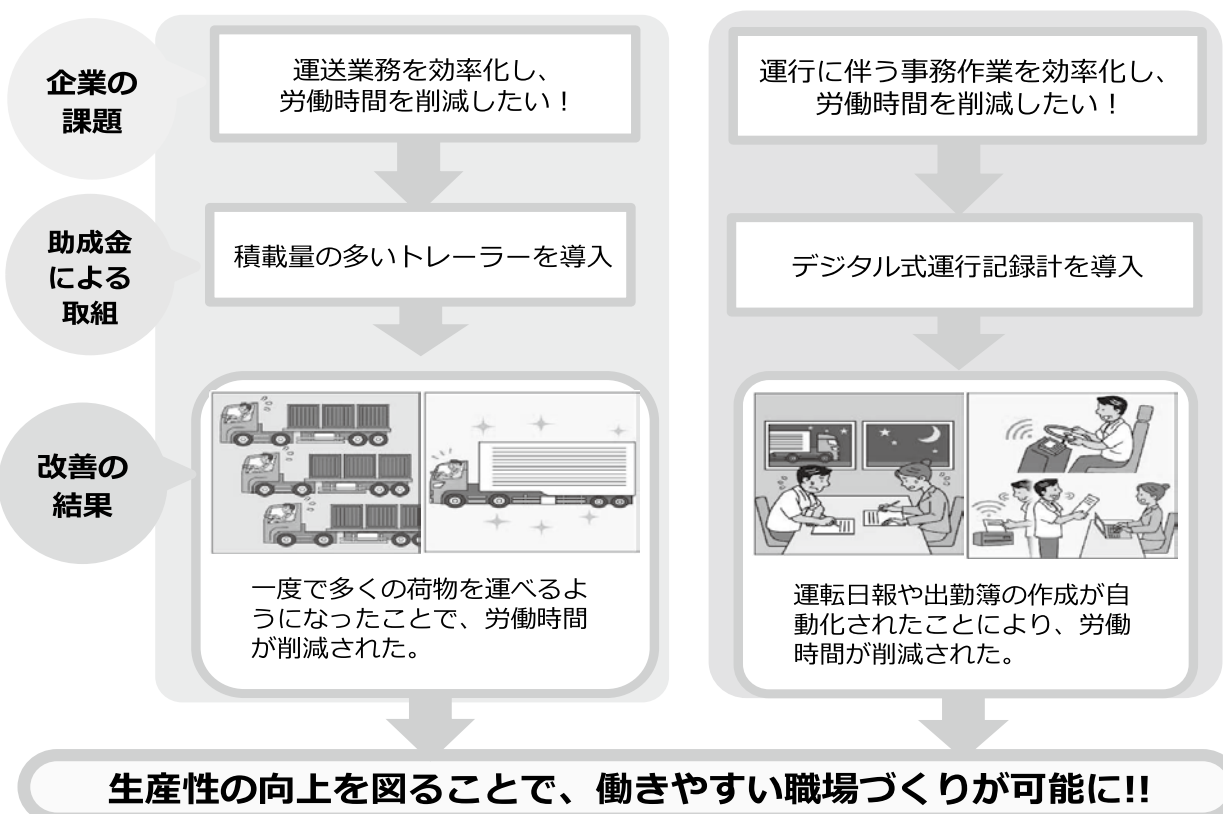
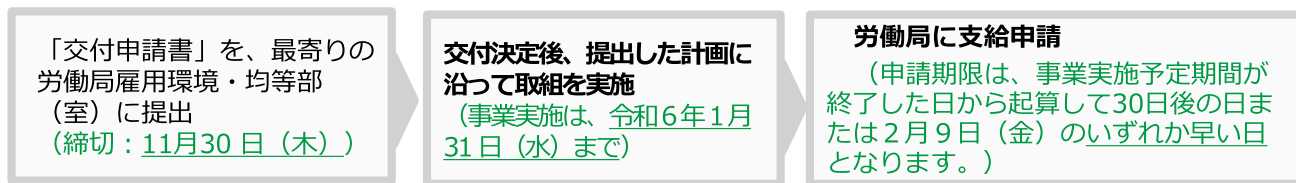


図3 助成金利用の流れ



(注意) 本助成金は国の予算額に制約されるため、11月30日以前に、予告なく受付を締め切る場合があります。

令和5年度「働き方改革推進支援助成金」適用猶予業種等対応コース(運送業)に関する詳細



不明な点や質問などは、企業の所在地を管轄する都道府県労働局 雇用環境・均等部 または 雇用環境・均等室 まで

菅原社長に訊く! ドライバー／庫内作業スタッフとして「永く働ける場」を創出 男女別施設完備の新事業所で「女性が働きやすい職場」を実現!



菅原 司 代表取締役社長

21歳から66歳まで、35人のドライバーが在籍し、うち26人が未経験者です。女性ドライバーは約20年前から定期的に雇用しており、最大で3人在籍していたこともあります。ハローワークを通じての応募が最も多く、近年は、当社のホームページやSNS、会社のロゴや地元の小学生が描いた絵をラッピングしたトラックを見て応募してくる方が増えました。応募資格は「普通自動車免許(中型があればなお可)」で、中型限定解除費用は全額負担し、大型免許取得の費用は会社が半額補助しています。

ドライバーだけでなく、主要取引先である生活協同組合共立社(以下、「生協」)の物流センターで仕分け・積み込み等を行う庫内作業員も、当社の重要なスタッフです。物流センターは、未経験者が仕事の基本を学んだり、定年でトラックを降りたドライバーが活躍できたり、けがや体調不良で運行に出られないドライバーを一時的に配置転換できたりする、キャリアアップやキャリアダウンを含む「永く働き続けるための場」となっています。

今年、生協の生鮮加工センターからほど近い場所に大山事業所を新設しました。男女別のトイレ・更衣室・シャワー室完備の新事業所によって、念願だった「女性が働きやすい職場環境の整備」を実現することができました。今後も、石黒さんのように元気に活躍してくれる女性ドライバーが入社してくれることを願っています。

有限会社菅原物流

【代表取締役社長 菅原 司】

本社所在地	山形県鶴岡市大平田字丁野田3-1
資本金	1,600万円
設立	昭和59年4月16日
従業員数	75人(ドライバー35人、うち女性1人)
車両数	25台

女性の輝く現場から

トラガールのお仕事。

第37回「中型車ドライバー(食品輸送)」石黒 優子さん(菅原物流・山形県)

トラック運送業界で様々な仕事に携わる女性をとりあげるこのコーナー。第37回は、「中型車ドライバー(食品輸送)」のお仕事です。(菅原物流(山形県)の石黒優子さんが登場します。

トラガールファイル

運行・荷扱い・車両美化の随所に光る高いプロ意識 他の模範となる存在のベテラン女性ドライバー!

- ・高校卒業後、製造業に就職。結婚後、23歳で軽貨物ドライバーに転職し、出産・育児と並行しつつ30歳からトラックドライバーに転身。長女(28歳)、長男(21歳)の母。
- ・シフトによって配送先が異なり、半日と全日の運行がある中、取材当日は最長ルートの全日運行を担当。「私は仕事の量を求めて当社へ転職したので、たくさん仕事を任せてもらえるということがやりがいにつながっています」(石黒さん)。
- ・菅原社長が「石黒さんが入社してくれたおかげでドライバー全員の美化意識が高まった」と感謝するほど、洗車の丁寧さに定評がある。「食品を運ぶ上に、白い車体ですので、トラックの中も外もしっかり洗います。冬場は融雪剤が撒かれ、特にトラックが汚れるので、水道の凍結と戦いながら、さらに丹念に洗い上げます」(同)。

- ◆担当業務: 8トン車による食品輸送
- ◆勤続年数: 4年10か月
- ◆取得資格: 大型自動車免許

石黒 優子さん



石黒さんのある1日の仕事の流れ

石黒さんは日々、どのような「トラガールのお仕事」に携わっているのでしょうか。お仕事に1日密着させていただきました。

- 8:30 本社営業所に出勤。点検(写真①)・点呼、検温、血圧測定(写真②)等を行ったあと、鶴岡市内(大山事業所すぐそば)にある、生協の生鮮加工センターへ向け出発。「点検で特に重点的にチェックするのは、タイヤとホイールの状態です」(石黒さん)。
- 9:00 同センターに到着。山形市内の店舗3か所へ輸送する荷物(農産品や、畜産品・惣菜などのチルド品)の仕分け(写真③)と積み込みを行う。庫内作業スタッフと連携しながら、段ボールや折り畳み式コンテナをのせたカゴ台車をトラックの荷台へ積み込んでいく(写真④)。「重たいカゴ台車をうまく動かすコツは、台車下のほうをつかみ、重心を低くして運ぶことです」(同)。
- 11:00 積み込み完了後、山形市へ向け出発(写真⑤)。山形市内3か所の店舗を順番にまわり、納品する。「店舗のスタッフさんたちは、率先して荷降ろしに協力してくれます。本当にありがたいです」(同)。
- 14:10 納品完了後、山形市にある生協の物流センターへ。前出の生鮮加工センター(鶴岡市)行きの荷物を引き取り、積み込む。積み込み完了後、次の積み込み先へ向け移動(写真⑥)。
- 15:20 移動の途中で昼食休憩をとる。「生協のお店でお弁当やお惣菜を買って食べることもあります。季節の新メニューがあるとテンションが上がって買ってしまうですね」(同)。
- 15:50 北村山郡大石田町にある食品加工会社に着。カット野菜やサラダ用野菜、刺身のつま等のチルド品が積まれたカゴ台車を積み込む。積み込み完了(写真⑦)後、次の積み込み先へ向け移動。
- 17:10 鶴岡市にある生協の水産加工センターに到着(写真⑧)。さきほど積み込んだ刺身のつま等を納品した後、段ボールや発泡スチロールに入った、チルドや冷凍の魚などをロング台車で荷台へ積み込む。
- 18:10 積み込み完了後、納品先へ向け移動。
- 18:30 前出の生協生鮮加工センターに到着。カット野菜や魚などをすべて降ろして納品。本社営業所へ戻る。
- 19:30 帰社。駐車場で洗車を行う(写真⑨)。
- 19:50 帰社時点呼・日報の記入や、伝票の提出、一日の報告を行う(写真⑩)。
- 20:00 退社。

interview 永く働き続ける秘訣は「細心の注意」・「けが予防」・「夫とのリフレッシュタイム」

◆トラックドライバーという仕事の魅力を教えてください。

23歳から軽貨物ドライバーとして仕事を始め、30歳の時にトラックドライバーになりました。トラックドライバーになったきっかけは、友人が乗用車を運転中に山道の溝に落ちたと連絡を受けて助けに行った際、車を引き上げるためにやってきたレッカー車でした。レッカー車に乗ってやってきたレッカー会社の社長さんに、「女性でもできる仕事だから、うちの会社でキャリアカーのドライバーとして働いてみないか」と声をかけられ、新車の軽自動車を4台積載する4トンワイドキャリアカーのドライバーになったのが、トラックドライバーとしてのスタートでした。

ドライバーという仕事の最大の魅力は、自分ひとりの空間で、自らの裁量で仕事ができることだと思います。あと、眺めのよさですね。トラックの運転席に初めて乗ったときの感動は、いまだに忘れられません。特に大型トラックから見る景色はさらに壮観ですし、来月から11トン車の新車に乗務することになっているので、新しいトラックから見る景色を楽しみにしています。

◆トラックドライバーとして心がけていることは何ですか。



美しく磨き上げられたトラック

安全運転のために心がけていることは、とにかく「よく確認すること」です。車両が大きくなればなるほど確認するポイントは増えます。新しい11トン車に乗るときは、より注意が必要になるので、今から気を引き締めています。初夏のこの時期は、街路樹の伸びた葉や枝が車体に擦れて傷がつかないように気を付けています。車両を美しく保ちたいので、傷や汚れがないよう、丁寧な運転・洗車・点検を心がけています。特に冬場の洗車は、ホイールや下回りの腐食の原因となる融雪剤をしっかりと洗い流すことが欠かせません。

また、荷役災害や、職業病でもある腰痛や関節



新設された大山事業所は羽前大山駅のすぐそば

痛の予防にも気を付けています。入社後、一度荷役作業中にけがをし、会社の人に迷惑をかけてしまったことがあり、それからより細心の注意を払うようになりました。荷役災害を引き起こす一因には、「気持ちの焦り」があると思います。私がけがをしたのは雪の日で、雪が降っているから気を付けなくてはならないとわかっていたのに、「作業を早く進めたい」と気持ちが急いでいて、うっすら雪の積もったテールゲートで足を滑らせ、肩を脱臼してしまいました。肩がだらんとはずれているのが一目でわかるほどの脱臼で、「治らないかもしれない」と思いました。少しの焦りが大けがにつながることを痛感しました。それから心にとりもって作業をするようになりました。

脱臼の結果、肩がまったく上がらなくなったので、半年ほどドライバーの仕事は休みました。その後、庫内作業をしているうちに、商品の入ったケースやボックスを出し入れする作業がいろいろハズリになったのが、徐々に肩が上がるようになったのです。「もう治らないかもしれない」とあきらめかけていたのですが、会社に来て少しずつ庫内作業をするうちに回復し、今ではすっかり治りました。庫内作業に配置転換してもらえ環境があったおかげで、仕事を続けることができたと思っています。

そうした経験からけがの予防意識が高まり、トラックドライバーとして永く働き続けるためにも、腰痛や関節痛の兆しを感じたら、コルセットやサポーターを装着するようにしています。おかげでそれ以降けがはありません。

◆リフレッシュ方法を教えてください。

トレーラーダンプのドライバーをしている夫は、率先して家事をしてくれるので、本当に助かっています。夫婦で休みが合った日は、2人でおいしいものを食べに行くことも、いいリフレッシュになっています。おすすめの山形グルメは、煮干しベースの醤油スープに、極太の縮れた平打ち麺の「ケンちゃんラーメン」で、中でも余目店(山形県東田川郡庄内町)、通称「アマケン」が大のお気に入りです。

運転や荷役作業には細心の注意を払いつつ、休みの日にはおいしいものを食べてしっかりリフレッシュすることで、ドライバーとして永く働き続けられているのかも知れません。



石黒さんの入社研修は井上部長が担当した

石黒さんはこんな人!

仕事がとにかく丁寧。ベテランということで、体力面も考慮して運行を組んでいるつもりですが、どんな運行でも完璧にこなしてくれる、頼りになるドライバーです。



井上 一男 業務統括部長

優子さんには、当社初の「定年退職をする女性ドライバー」になってほしいと思っています。



菅原 真実 総務管理部長

